

# 三つの「つ」

校長 岸田 健吾

55年目を迎えた八幡木中学校は、1年生170名を迎え、全校生徒475名15学級でスタートします。私は本校校長3年目の岸田健吾（きしだけんご）と申します。本校がますます発展するように、教職員と心を一つにし、全力で取り組んでまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

始業式と入学式で話した、よりよい八幡木中学校にするための**三つの「つ」**で始まるポイントを紹介します。

## 一つ目、つながる

新しい友達と**つながる**、先輩と**つながる**、先生と**つながる**。4月はたくさんのおつながりを作りましょう。八幡木中学校には特別支援学級があります。6組の友達です。学校生活では、行事や授業と一緒に活動・学習をします。お互いに助け合い、認め合いみんなで八幡木中学校をよりよい学校にして欲しいと願っています。友達と仲良くするときには心掛けることは、自分がされて嫌なことは、人にしない、言わないことです。

## 二つ目、続ける

自分でやると決めたことは**続ける**ことです。良いことは1度や1回で終わりにするのではなく、2回、3回と**続けましょう**。**続ける**ことにより、できるようになることが増えてきます。新たな力を身に付けることができます。中学生のみなさんの力は無限大です。

## 三つ目、積み重ねる

私が子供の頃から大切にしていることは、「はいっ」と元気よく返事することです。50年以上**積み重ね**ています。元気は出るのではなく、出すのです。気持ちが落ち込んだとき、「はいっ」と返事してみましよう。自分の返事で元気が回復してきます。返事は生涯にわたる大きな財産です。人の心をつかみます。八幡木中学校の生徒として、いつでもどこでも元気な返事ができるようにしてください。

たった一言が人の心をあたためます。子供たちをたくさんほめて育てたいものです。八幡木中学校はこれからも生徒一人一人を大切にし、人間関係を含め豊かな環境づくりを進めてまいります。